

一三六 切 市



本工事内訳書

No. 1

[illegible]

本 工 事 内 訳 書

No. 2

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬・処理工						
	水草集積 仮置場作業 フォークリフト	m ²	5,600			代価第 4 号参照
	水草積込 仮置場作業 フォークリフト	//	5,600			代価第 5 号参照
	水草運搬 ダンプトラック3t	回	45			代価第 6 号参照
	水草処分	t	45			代価第 7 号参照
	散在塵芥収集運搬	m ²	5,600			代価第 8 号参照
	混合廃棄物処分	m ³	5			代価第 9 号参照

本工事内訳書

No. 3

[illegible]

諸 経 費 算 出 表

No. 4

工種	規格・細目	単位	数量	単価	金額	摘要
直接工事費計						
共通仮設費による計上		式	1			
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						
一般管理費等		式	1			
契約保証費用		式	1			
工事価格						
消費税等相当額		式	1			
請負工事費						

対象額計算書

名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
水 草 処 分 費		45.0	t				
混合廃棄物処分費		5	m ³				
処 分 費 計							

神 栖 市

対象額計算書

数量計算書

4堀割川排水路清掃業務委託
数量計算書

数量計算書

1 水草除去工

1) 水草切断・曳航・集積 エンジン付船舶 A= ① ② ③ (平面図参照) = 5,600.0 ÷ 5,600 m²

2) 水草積込 バックホウ超ロングアーム型 A= 4,000.0 + 1,000.0 + 600.0 = 5,600.0 ÷ 5,600 m²

3) 現場内小運搬 ダンプトラック3t A= 4,000.0 + 1,000.0 + 600.0 = 5,600.0 ÷ 5,600 m²

2 運搬・処理工					
1) 水草集積	仮置場作業 フォークリフト	A= 4,000.0 + 1,000.0 + 600.0	= 5,600.0	≒ 5,600 m ²	
2) 水草積込	仮置場作業 フォークリフト	A= 4,000.0 + 1,000.0 + 600.0	= 5,600.0	≒ 5,600 m ²	
3) 水草運搬	ダンプトラック3t	N= 44.8	= 44.8	≒ 45 回	
4) 水草処分		W= 5,600m ² × 8.0kg/m ² / 1,000	= 44.8	≒ 45 t	
5) 散在塵芥収集運搬		A=	= 5,600.0	≒ 5,600 m ²	
6) 混合廃棄物処分		V=	= 5.0	≒ 5 m ³	

3 流出防止対策工									
1)	オイルフェンス設置	フロート径150	L=	10.0		=	10.0	÷	10 m
2)	ブルーシート設置	#3000 3.6×5.4	A=	200.0	+	50.0	=	250.0	÷ 250 m ²

一位代価表

第 1 号

水草切断・曳航・集積 エンジン付船舶

1,000 m² 当一位代価表

名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
エンジン付船舶運転		1,000	m ²				
集 積 作 業	普通作業員		人				
計						1,000 m ² 当り	
1.0m ² 当り						/ 1,000 m ²	

神 栖 市

第 1 号

水草積込		バックホウ(排対2次) 超ロングアーム型 山積0.4㎡(平積0.3㎡)						1,000 ㎡ 当一位代価表	
名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要		
ハックホウ運 転	バックホウ(排対2次) 超ロングアーム型 山積0.4㎡(平積0.3㎡)		日				代価第12号参照		
計						1,000 ㎡当り			
1.0㎡当り						/ 1,000 ㎡			
						神 栖 市	第 2 号		

水草小運搬		積込場所～仮置き場所 ダンプトラック 3t積級					
		1,000 m ² 当一位代価表					
名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
ダンプトラック運転	ダンプトラック 3t積級		日				代価第13号参照
計						1,000 m ² 当り	
1.0m ² 当り						/ 1,000 m ²	
						神 栖 市	第 3 号

水草積込(仮置場作業)							
1,000 m ² 当一位代価表							
名 称		員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
フォークリフト運転	エンジン駆動 0.9t級		日				代価第14号参照
計						1,000 m ² 当り	
1.0m ² 当り						/ 1,000 m ²	

神 栖 市

第 5 号

第 7 号

水草処分

1 t 当一位代価表

名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
処 分 費		1.000	t				
計							

神 栖 市

第 7 号

散在塵芥収集

収集・集積・積込み・運搬 DID無し 21.5km以下 持込 良好

1.0 m2 当り 一 位 代 価 表

	名 称 ・ 規 格 (地区単価)	構成比(%)		地区単価		地区単価備考	名 称 ・ 規 格 (東京単価)	東京単価		東京単価備考
K		5	39							
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量2t積級	5	39							
R		92	34							
R1	軽作業員	61	79							
R2	運転手(一般)	17	93							
R3	土木一般世話役	12	62							
Z		2	27							
Z1	軽油 1.2号(陸上用)	2	27							

混合廃棄物処分

1 m³ 当一位代価表

名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
処 分 費		1.000	m ³				
計							

ブルーシート設置							
100 m ² 当一位代価表							
名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
フ ゃ ル ー シ ー ト	#3000 3.6×5.4(19.44m ² /枚)	5.144	枚				
シート設置・撤去	普通作業員		人				
計						100 m ² 当り	
1.0m ² 当り						/ 100 m ²	
						神 栖 市	第 11 号

バックホウ(排対2次) 超ロングアーム型 山積0.4m3(平積0.3m3)

1.0 日 当一位代価表

名 称	規格・寸法	員数	単位	単価	金額	算出基礎	摘 要
特 殊 運 転 手			人				
軽 油			ℓ				
ハ ッ ク ホ ウ	排対2次 超ロングアーム型 山積0.4m3(平積0.3m3)		日				
諸 雑 費		1.000	式				
計							

仕 様 書

特 記 仕 様 書

排出ガス対策型建設機械使用の原則化

1. 当工事における使用機械のうち排出ガス対策型と表示したものは原則として、それ以外の機械の使用は認められないので留意すること。
2. 排出ガス対策型建設機械の調達が困難である場合は、理由書を提出し、その理由が妥当であるか監督員と協議し決定する。(請負者の都合による場合は不可) この場合変更契約の対象工事とする。
3. 現場代理人は、排出ガス対策型建設機械を使用する場合、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。
4. 請負者は、施工計画書に排出ガス対策型建設機械の機械名、規格等を記載し、監督員の確認を受けること。
5. 施工中の確認及び工事写真
 - イ) 指定ラベルが添付されていること。
 - ロ) 形式名が指定一覧表に記載されていること。
6. その他、疑問点がある場合は監督員と協議し決定するものとする。

(様式-1)

リサイクル計画書（詳細・積算段階）

1.設計概要

発注機関名	神栖市道路整備課
工事名	4堀割川排水路清掃業務委託
施工場所	神栖市居切地内
工事概要等	水路清掃(水草除去) A=5,600㎡
工期(予定)	令和4年12月～令和5年3月

2.建設資材利用計画

建設資材	①利用量	②現場内利用	③再生材利用量	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①x100	備 考
土砂						
砕石						
アスファルト混合物						
他産業からの再生材						

3.建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発生量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦)/⑥x100	⑫有効利用率 (⑦+⑧+⑨)/⑥x100	
建設発生土								
第1種 建設発生土								
第2種 建設発生土								
第3種 建設発生土								
第4種 建設発生土								
泥土(浚渫土)								
合計								
コンクリート塊								
アスファルト・コンクリート塊								
スラック材								
草	45トン	0トン	0トン	0.0トン	45トン	0%	0%	

*建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする。)

①第1種建設発生土・・・砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土・・・砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土・・・通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

*建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

*利用量等は、現時点で算出可能なものを記載する。

④第4種建設発生土・・・粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

⑤泥土(浚渫土)・・・浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。

<参考> 重量換算係数 (トン/%)

項 目	荷積み状態での換算値		実体積による換算値
	建廃ガイドライン値(注1)	参考値(トン/%)	
建設汚泥	1.2～1.6	1.4	1.4
コンクリート塊	(建設廃材)	1.8*注2	2.35(無筋)
アスファルト塊	1.6～1.8	1.8*注2	2.35
建設発生木材	0.4～0.7	0.5	
金属くず	1.4～2.0	1.5	

注1 :建廃ガイドライン値: (「建設廃棄物処理ガイドライン」厚生省生活衛生局水道環境部産業廃棄物対策室監修)による値

注2 :これは運搬時における空隙を多く含む状態での標準的な換算値である。

項 目	荷積み状態での換算値	
	建廃ガイドライン値(注1)	参考値(トン/%)
廃プラスチック	0.1～0.3	0.2
建設混合	新築	0.31注3
廃棄物	木造解体	0.816
アスベスト	—	0.25
砕石	—	—
		2.0*注4

注3:建設混合廃棄物の新築は(社)建築業協会の調査結果(H2.9.30)、木造解体は「関東木造建設解体業連絡協議会」の調査結果(H3.3.4)による。

注4:盛土状態での換算値。(「道路橋示方書・同解説」(社)日本道路協会)等による値。

特 記 仕 様 書

a. 分別解体等・再資源化等〔建設リサイクル法の対象建設工事〕

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されてるものであるため、発注者が「積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない」。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

① 分別解体等の方法

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法（※）
①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
⑥その他 （ ）	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

② 再資源化等をする施設の名称及び所在地
別紙参照

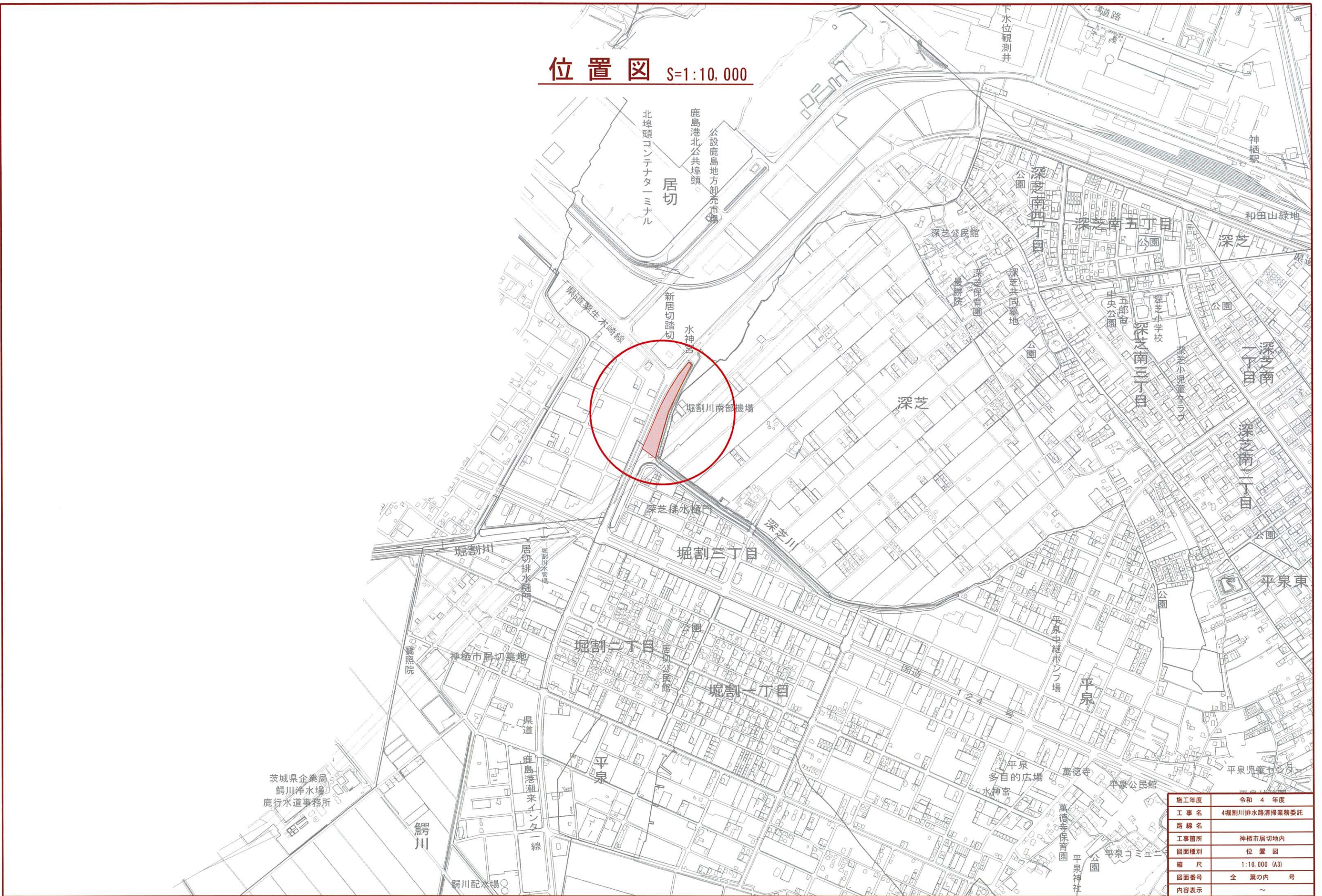
③ その他
仮置き等必要条件があれば記載する。

2. 請負者は、分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、別添様式1により監督員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

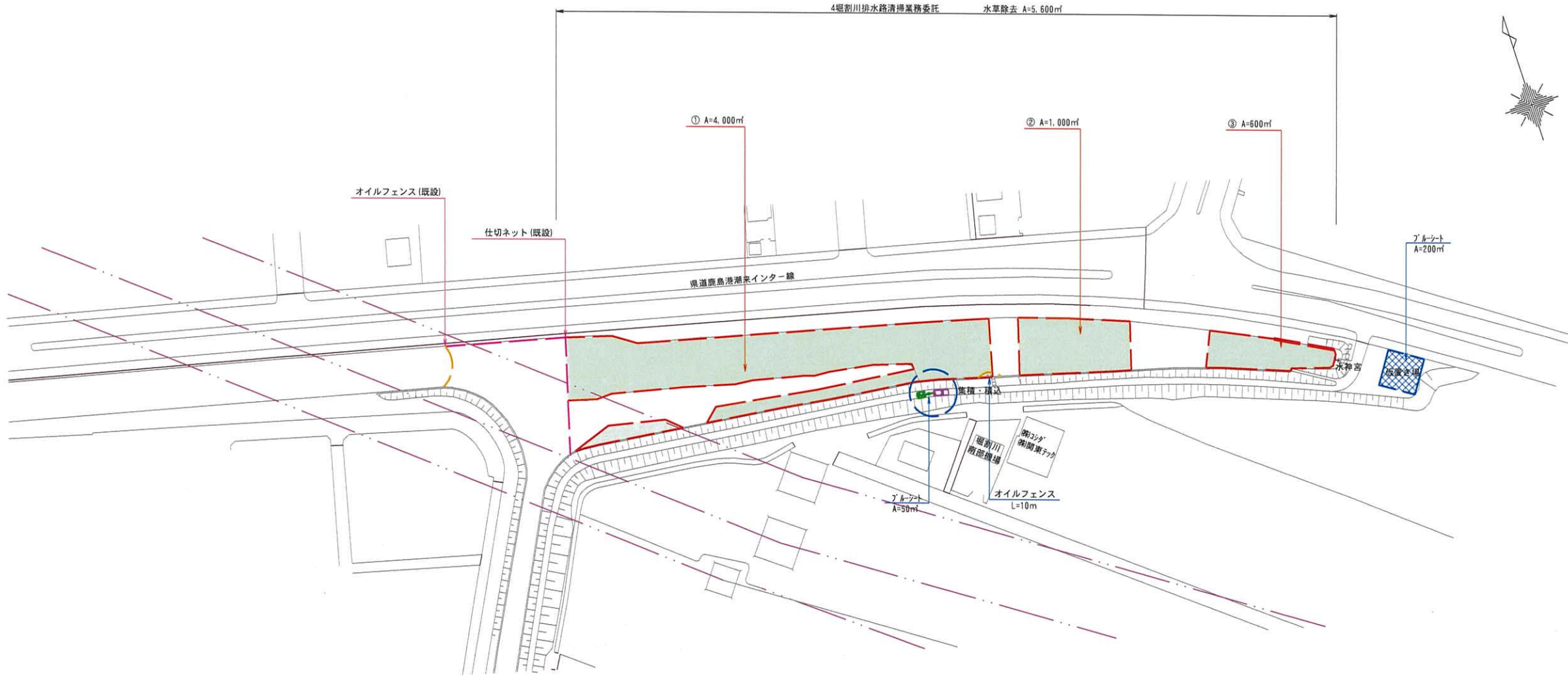
b. その他
工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

位置図 S=1:10,000

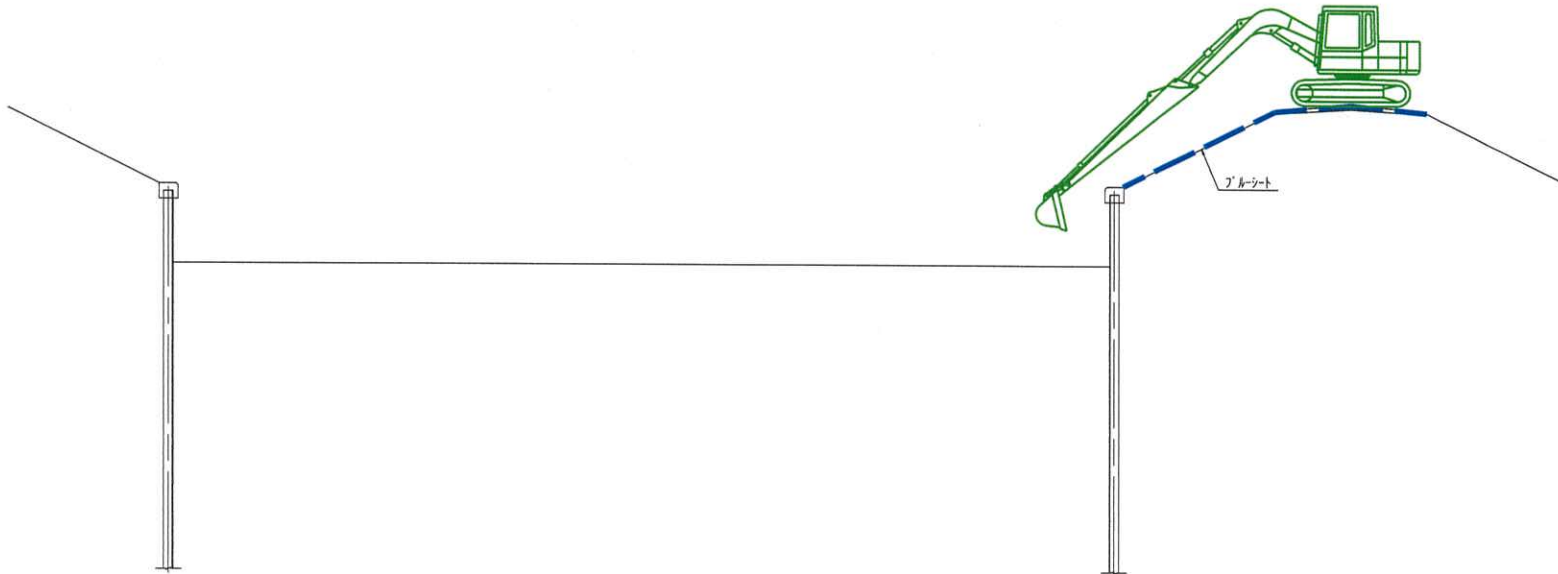


施工年度	令和 4 年度
工 事 名	4堀割川排水路清掃業務委託
路 線 名	
工事箇所	神栖市居切地内
図面種別	位 置 図
縮 尺	1:10,000 (A3)
図面番号	全 業の内 号
内容表示	～

平面图 S=1:1,000



断面図



施工年度	令和 4 年度
工 事 名	4 堀割川排水路清掃業務委託
河 線 名	堀 割 川
工事箇所	神 栖 市 居 切 地 内
図面種別	計画平面図
縮 尺	1 / 1,000
図面番号	全 1 葉の内 1 号
内容表示	～